多機能型排水性舗装　フル・ファンクション・ペーブ（FFP）

能登復興事務所 NOTO Reconstruction Office

- 工 事 名：令和6年能登半島地震 国道249号啓開作業その５工事
- 活用企業：株式会社安藤・間　北陸支店
- 開発企業：株式会社ガイアート（NETIS番号　(旧)KT-130010-VE）

■新技術の活用

○ 鋼製仮橋での凍結抑制、滑り防止対策を目的として、FFPを施工。

○ FFP フル・ファンクション・ペーブ（多機能型排水性舗装）は、混合物一層で表面付近は排水機能、下部はSMA（砕石マスチック舗装）の防水機能を持つ新しい縦溝粗面型ハイブリッド舗装。

○ メカニズムを改良したフィニッシャでの施工により、路面のキメ深さを確保できることから、凍結防止剤が簡単に流出しなくなり凍結抑制効果が持続でき、路面のすべり抵抗性に優れている。

■新技術の活用による効果

○ 一層で排水機能と防水機能の2つの機能を持っている。

○ 排水機能によるハイドロプレーニング等の防止により、安全性の向上が図れる。

○ 凍結防止剤の流出が少なく、凍結防止機能の持続性が高くなる。

○ アスファルトフィニッシャの特殊スクリード（シニックスクリード）を使用し路面を縦溝粗面に仕上げることで、ブラックアイスバーンの解消を図ることができる粗面系（ハイブリッド型）凍結抑制舗装。

○ 耐流動性と骨材飛散抵抗性に優れている。

○ 縦溝粗面効果により、昼夜ともに視認性が向上し、密粒度タイプの舗装に比べ、タイヤ路面騒音値が低減される。

■仕上がりイメージ

■施工の様子

■凍結抑制効果検証例（札幌市）　出典：ガイアートHP